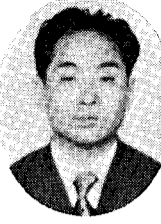


こすど公民館報

小須戸町公民館
発行所 小須戸町公民館
発行人 間野良知
発行日 毎月15日
発行部 15部
印刷所 昭栄堂印刷所

食するなかに

小須戸中学校校長
中野 衆男

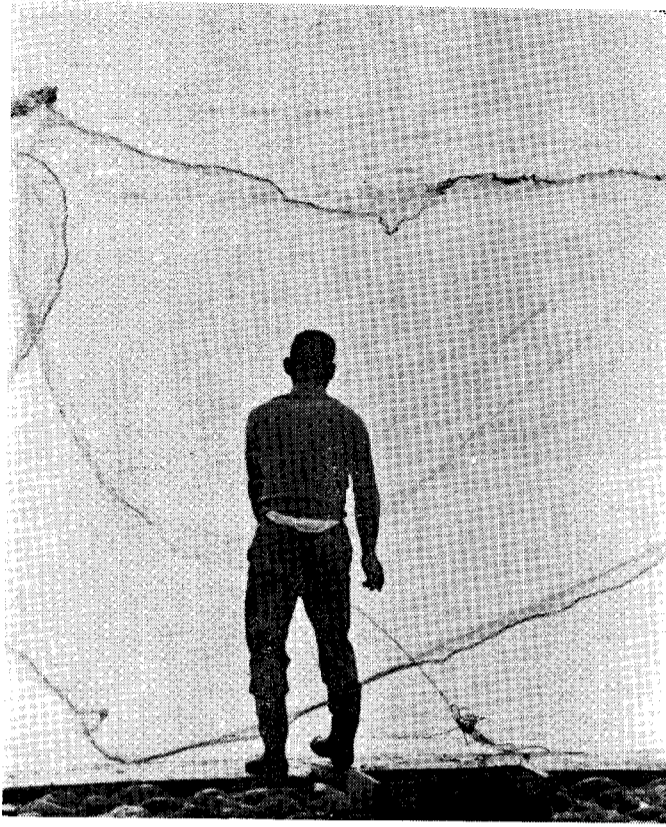


六年前に教育事情視察のため海外に派遣されたことがある。百聞一見にしかず、幾つかの事柄について考えさせられた。その一つは食事の時間とその教育的な意義である。

日本の食事は、早めし、早く、早仕度の諺の如く日常的には早く終了します。食事の持つ機能は大別して、一つは栄養をとることであり、一つは人間関係の改善機能であります。早めしの類はま

個人の特性の分化に依りて、豊かな個性と社会的計画的な教育制度であり、これを先に述べた相互補完の立場から、家庭教育に期待するものを考えるならば、家庭教育は人間としての精神的成長の基盤としての重要性を認識し、幼年期から青年期を通じて、基本的な生活習慣と行動の節度を養うこと、このことによつて自制心を培うこと、自然と生物に対する愛情を育て、親密な家族生活の間におのずから人間に対する敬愛の念と敬虔な心を養うこと、生活と勤労に対する真摯な態度を体得させることとあります。

そこで先に述べた外国における食事の持つ意義を考へてみたい。家庭における食事のなかに家族としての精神的な安定の確立が考えられる。



こすど川

幾とせを流れにかえて
ふるさとに
日本一の川が横たう
時の流れが人をかえ
川面に浮かぶ船もなし
今はただ
水の流れに昔をしのぶ
ふるさとの
静けさ漂うこすど川

長寿大学案内

五月後半
一六日(日) 陶芸教室
午後一時 羽生田焼の土田基五郎氏の講話と実技指導(町民体育館)
二〇日(木) 民謡ク
二二日(火) 朝顔の講習(温室手入日)
二六日(水) 生花ク
二八日(金) 全体学習
二九日(土) 園芸ク
三〇日(日) 書道ク
三一日(月) 料理ク実習
六月前半
一日(火) 囲碁ク
二日(水) 読書ク
三日(木) 民謡ク
五日(土) 陶芸ク
八日(火) 温室手入日
九日(水) 生花ク
一〇日(木) 運営委員会
一四日(月) 書道ク
一五日(火) 温室手入日

前号の訂正とお詫び

四月十五日号の学校関係人事移動で、誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

生きがいは自分たちの手で

長寿大学の入学始業式
去る四月二十一日、午後一時に中央公民館大ホールにおいて、恒例の入学始業式を行いました。新年度をスタートしました。

地元若し

求人申込みは早目に
五十二年三月卒業の新規卒業者の求人申込み時期が近づいてきました。六月一日より求人票の受付が始まります。

土俗信仰

観音さま
戸納、男性は二月から三月まで、女性は三月から四月まで、一月間、お寺に参詣して、お祈りをする。昔は信濃川の水上交通の盛んな頃、この立場が交通、運輸の重要な水駅で町の表玄関でありました。

公民館編集集

四月に小須戸中学校を転出された今正雄先生の後任に、赤塚中学校より転入された関根正樹先生より編集委員としてご協力いただくことになりました。よろしくお願いたします。

土俗信仰

観音さま
戸納、男性は二月から三月まで、女性は三月から四月まで、一月間、お寺に参詣して、お祈りをする。昔は信濃川の水上交通の盛んな頃、この立場が交通、運輸の重要な水駅で町の表玄関でありました。

新保村観音講御本尊

天ヶ沢地蔵講地蔵さま
元治元年申子年七月二十三日
仏師浦渚田村周太夫作

土俗信仰

観音さま
戸納、男性は二月から三月まで、女性は三月から四月まで、一月間、お寺に参詣して、お祈りをする。昔は信濃川の水上交通の盛んな頃、この立場が交通、運輸の重要な水駅で町の表玄関でありました。

新保村観音講御本尊

天ヶ沢地蔵講地蔵さま
元治元年申子年七月二十三日
仏師浦渚田村周太夫作

土俗信仰

観音さま
戸納、男性は二月から三月まで、女性は三月から四月まで、一月間、お寺に参詣して、お祈りをする。昔は信濃川の水上交通の盛んな頃、この立場が交通、運輸の重要な水駅で町の表玄関でありました。

新保村観音講御本尊

天ヶ沢地蔵講地蔵さま
元治元年申子年七月二十三日
仏師浦渚田村周太夫作

土俗信仰

観音さま
戸納、男性は二月から三月まで、女性は三月から四月まで、一月間、お寺に参詣して、お祈りをする。昔は信濃川の水上交通の盛んな頃、この立場が交通、運輸の重要な水駅で町の表玄関でありました。



